

第114期 中間ビジネスレポート

2024年4月1日～2024年9月30日

バリューチェーンで
人をつなぐ、社会をつなぐ、未来へつなぐ



ダイワボウホールディングス株式会社



国内IT需要の拡大を捉え 上期として最高売上高を更新 営業利益は3期連続の増益

ダイワボウホールディングス株式会社 代表取締役社長 西村 幸浩

業績および中間配当について

第114期(2025年3月期)中間連結会計期間における業績についてご報告いたします。当期の業績は、売上高は5,173億83百万円(前年同期比16.0%増)、営業利益は135億22百万円(前年同期比5.9%増)、経常利益は138億39百万円(前年同期比7.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は94億74百万円(前年同期比11.1%増)となりました。好調な上期業績を受けて、当社グループは、2025年3月期の見通しを売上高1兆1,235億円、営業利益330億円と上方修正し、株主様への還元につきましては、2025年3月期中間配当金を、1株当たり45円と前回予想から10円増配させていただきました。

今後の見通しと取り組みについて

当社グループは、当期より新たな中期経営計画(2025年3月期~2027年3月期)をスタートさせました。本計画の対象期間は、「事業ポートフォリオ変革による躍進期」と位置づけ、「ホールディングス体制での成長」「“過去最高”へのチャレンジ」「ステークホルダーエンゲージメントの向上」をグループ基本方針としています。同時に、中長期ビジョン『2030 VISION』を公表し、当社グループの企業価値向上のエクイティストーリーとして、「IT分野を軸に新たな事業領域へ経営

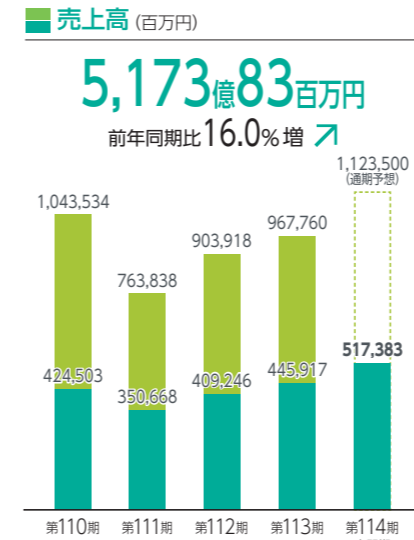
資源を投入し、バリューチェーンのさらなる発展につながるグループ体制を構築する」という方針を示すとともに、2031年3月期に連結営業利益500億円という目標を発表しました。

このようななか、2025年3月期のITインフラ流通事業では、国内企業の好調な業績を受け、今後も大規模なIT投資が進むと見られ、当社業績にも追い風になると予想しています。また、2025年10月にサポートが終了するWindows10の更新需要により、法人向けPCの引き合いが強くなると見込んでおり、戦略的な在庫確保を含めて対応強化を進めています。また、エリアごとに販売パートナーとともに着実にエンドユーザーを見据えた取り組みを実行することで、さらなる業績拡大を目指します。

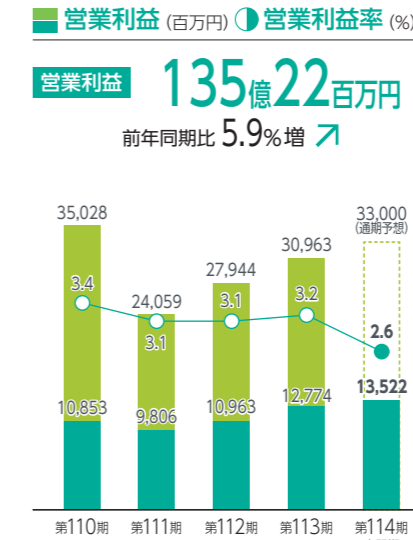
産業機械事業では、工作機械部門においてエネルギー業界を中心に省人化・無人化の提案を実施し、受注獲得を目指します。また、自動機械部門においては、国内外の展示会出展にて獲得した引き合いを中心に販促活動を行い、さらなる受注拡大を図ります。

最後に、事業拡大による経済的な価値向上を果たすとともに、社会課題解決への貢献によって社会的な価値も高めていくことで皆様の信頼に応えてまいります。

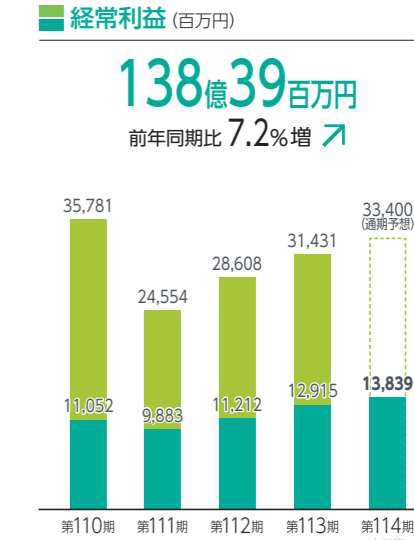
株主の皆様におかれましては、引き続き倍旧のご支援とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。



(注) 第111期から、収益認識会計基準等を適用した数値を記載しております。

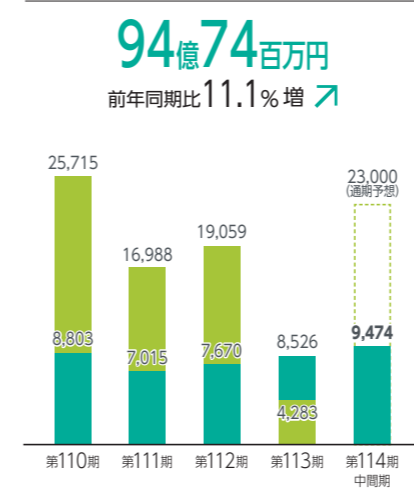


(注) 第113期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第113期中間期に係る数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。



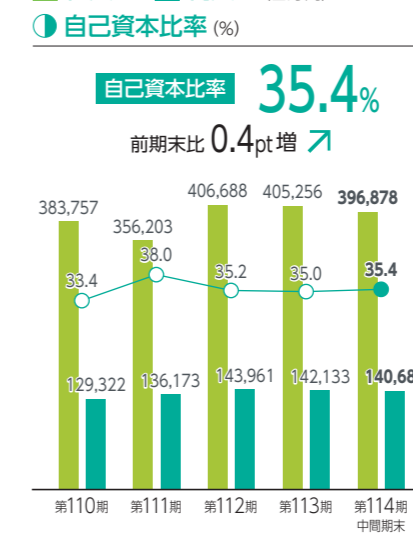
(注) 第113期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第113期中間期に係る数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (百万円)

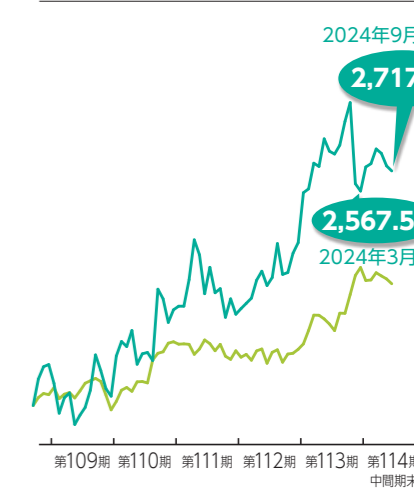


(注) 第113期に大和紡績の株式譲渡などに伴う特別損失を計上した影響で当期純利益が一時低下しております。

総資産 ● 純資産 (百万円)

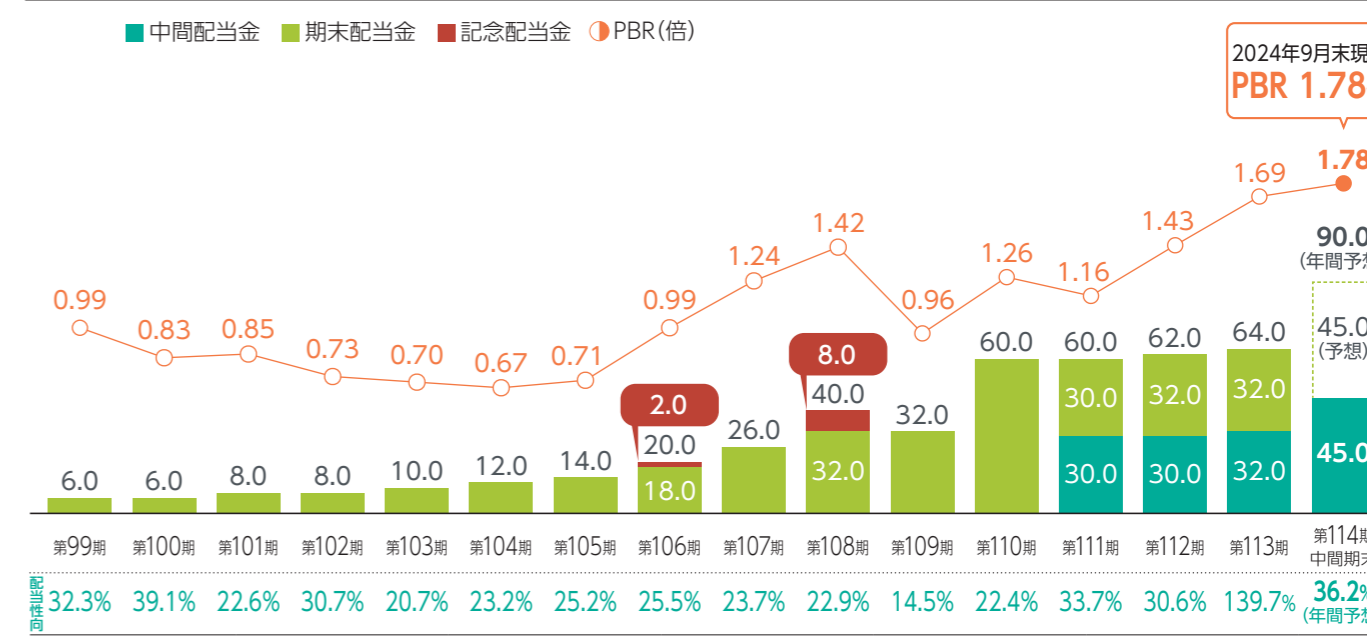


相対株価 ● 当社 ● 日経平均株価



(注1) 月足・終値ベースで算出しております。
(注2) 株式分割(2021年4月1日(第111期))を過年度に遡及して表示しております。

1株当たり年間配当金 (円)



(注) 株式併合(2017年10月1日(第107期))・株式分割(2021年4月1日(第111期))を過年度に遡及して表示しております。

統合報告書2024を発行

発行2年目となる本報告書では、当社グループが培ってきた強みや大切にしている「つなぐ力」に焦点をあて独自の価値創造ストーリーや、さまざまな生の声をお伝えできるようコンテンツを強化しました。当社グループの持続的な成長に向けた取り組みをわかりやすく紹介していますので、ぜひご一読ください。

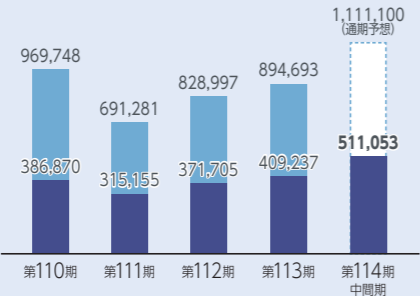
統合報告書2024
https://www.daiwabo-holdings.com/ja/ir/library/integrated_report.html

ITインフラ流通事業

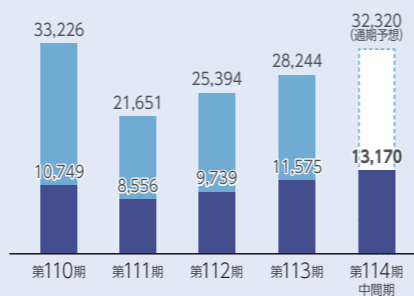
ディストリビューション	ダイワボウ情報システム(株)
サービス&ソリューション	ディーアイエスサービス&ソリューション(株)
ITインフラソリューション	アルファテック・ソリューションズ(株)



売上高 **5,110億53百万円**



営業利益 **131億70百万円**



(注) 第113期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る前定の会計処理の確定を行っており、第113期中間期に係る数値については、前定の会計処理の確定の内容を反映させております。

国内最大級のディストリビューターとしてIT環境をトータルにサポート

ITインフラ流通事業は、ダイワボウ情報システム(DIS)グループが運営する事業です。DISは独立系マルチベンダーとして、お客様のニーズに合わせて最適なソリューションを提案し、世界中のIT関連商品・サービスを最適な組み合わせでご提供しています。どの地域のお客様にもFace to Faceできめ細やかに対応できるよう、日本国内をカバーする営業拠点と物流拠点を展開。全国の販売パートナーを通じて、民間企業や官公庁・自治体、学校、医療機関、一般消費者など、幅広く利用されるIT関連商品をお届けします。時代の変化に即応しながら、万全のサービス&サポートで、多様化・高度化するニーズに応え続けていきます。

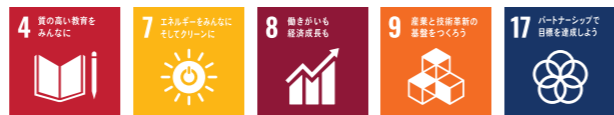


iKAZUCHI(雷)掲載サービス
134ベンダー / 250サービス
(2024年9月現在)

「iKAZUCHI(雷)」は、DISが提供するサブスクリプション管理ポータルです。サブスクリプション型(継続課金型)ビジネスは、初期導入コストを抑えて、最新のサービスを必要な分だけ利用できるため、幅広い分野で普及・拡大が見込まれています。販売パートナーは「iKAZUCHI(雷)」を利用することで、クラウドサービスを中心としたサブスクリプションビジネスにおける管理工数が削減され、年額・月額・従量制などのさまざまな継続型契約や、ユーザー情報の一元管理が可能になります。

事業を通じた社会課題解決への貢献機会

- 全国の営業拠点網によるIT化推進の取り組み
- 教育の情報化に向けた取り組み
- サブスクリプション管理ポータル「iKAZUCHI(雷)」での新たなビジネス共創の場の提供



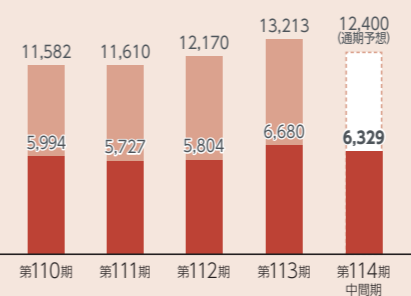
産業機械事業



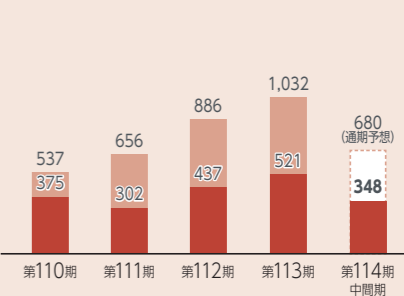
工作機械	(株)オーエム製作所
自動機械	(株)オーエム機械
鋳造・加工・組立	オーエム金属工業(株)



売上高 **63億29百万円**



営業利益 **3億48百万円**



あらゆる業界の製造機械に変革をもたらす「匠の精鋭技術集団」

航空・宇宙分野をはじめ、あらゆる産業のマザーマシンとして活躍し、長年にわたる技術・技能の伝承により厚い信頼を得ている「立旋盤」や、鉄道の安全と乗り心地を支える「車両旋盤」などの工作機械と、食品や製菓などの幅広い業界で活躍する自動包装機を主に製造販売しています。時代を先取りし、独創性を持って、高い技術力が生み出す高精度な機械を提供することで、多様化するユーザーニーズに確実に応えていきます。

<p>立旋盤</p> <p>累計出荷台数 7,600台</p> <p>航空機エンジンや、ロケット、発電設備、建設機械など、さまざまな分野で主に大型部品の加工で活躍</p>	<p>車両旋盤</p> <p>床下車両旋盤 国内シェア 第1位</p> <p>鉄道車両のメンテナンスに欠かせない鉄道車両旋盤は、全国を走る新幹線・電車の安全と乗り心地の向上に寄与</p>	<p>自動包装機械</p> <p>国産カートナー(小箱詰機) 1号機生産</p> <p>食品・医薬品などの箱詰めカートナーの他、梱包商品を集積してフィルムで包む中間包装機、段ボールケーサーなど、幅広い分野に対応</p>
---	---	---

事業を通じた社会課題解決への貢献機会

航空機エンジンやエネルギー分野向け、鉄道車両メンテナンス用の工作機械などを通じてモノづくりの技術と品質を提供



TOPICS

「日経STEAM2024シンポジウム」に特別協賛し、日本経済新聞に採録広告を掲載

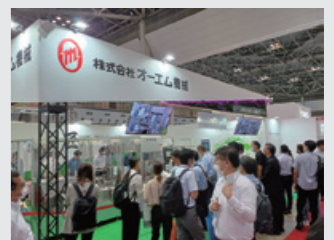
ダイワボウ情報システム(DIS)は、STEAM教育の推進および文化・社会貢献活動の一環として、2024年7月30日に大阪で開催された、日本経済新聞社大阪本社が主催する「日経STEAM2024シンポジウム」に特別協賛いたしました。「STEAM」とは、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Art(芸術)、Mathematics(数学)の頭文字を組み合わせた造語であり、理数教育に創造性を加えた教育手法です。

DISは、高校生・大学生によるICTの活用方法を提案するコンテストの開催や、特設体験コーナーを出展し、合成動画、3Dプリンター、プログラミングなど、学生・教職員を中心とした多くの来場者の方に体験いただき、好評を得ました。



「FOOMA JAPAN 2024」への出展

オーエム機械は、2024年6月4日～7日の4日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された食品製造技術の展示会「FOOMA JAPAN 2024」に出展いたしました。主力機種であるVCR75構型連続式カートニングマシンに最新鋭のリニア搬送システム(製品自動供給装置)を連結し、省スペースで高速生産が可能な機台構成を展示いたしました。本展示会への出展は、2年ぶりとなりましたが、多くの方にご来場いただき、ビジネスにつながる多くのご相談もいただきました。今後も展示会への出展を通じてお客様とのつながりを大切にまいります。



会社概要

(2024年9月30日現在)

社名 ダイワボウホールディングス株式会社
 資本金 216億9,674万4,900円
 創立日 1941年(昭和16年)4月1日
 HD設立日 2009年(平成21年)7月1日
 本社 大阪市北区中之島3丁目2番4号
 中之島フェスティバルタワー・ウエスト
 連結従業員数 2,991名

役員

(2024年9月30日現在)

取締役



代表取締役社長
西村 幸浩



常務取締役
猪狩 司



常務取締役
山下 隆生



社外
取締役
中村 一幸



社外
取締役
吉丸 由紀子



社外
取締役
藤木 貴子



社外
取締役
堀 哲朗



社外
取締役
岸波 みさわ

監査役



常勤監査役
小野 正也



社外
監査役
植田 益司



社外
監査役
角石 紗恵子

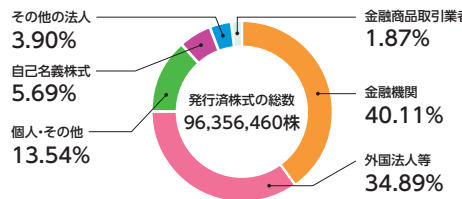
株式の状況

(2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
200,000,000株	96,356,460株	10,197名

(注) 発行済株式の総数のうち5,484,277株を自己株式として保有しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

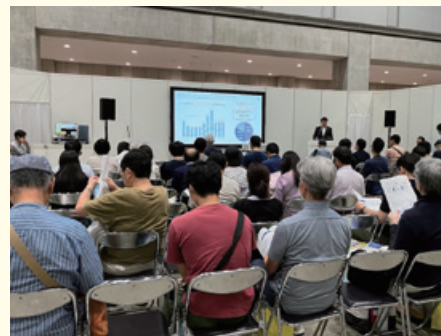
事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 基準日 毎年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL
<https://www.daiwabo-holdings.com/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお受けいたします。

「第19回 日経IR・個人投資家フェア2024」に出展いたしました。

当社は、8月23日・24日、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された「第19回 日経IR・個人投資家フェア2024」に出展いたしました。期間中は、多くの個人投資家のみなさまにご参加いただき、会社説明会やミニセミナーのなかで、当社の業績、強み、戦略、株主還元などについてご説明いたしました。今後も、当社グループをひとりでも多くの方々に知っていただけるよう、活動を続けてまいります。



株主の皆さまの
声をお聞かせください



当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>



ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。<https://www.pronexus.co.jp/>
 アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ koekiku@pronexus.co.jp